

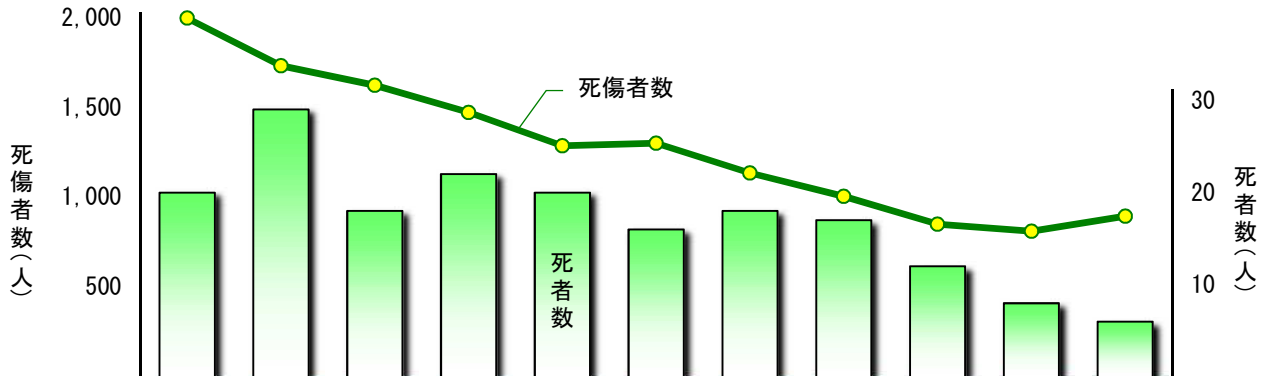
第8

自転車に関係した交通事故

1 推移(平成24年～令和4年)

死傷者数は減少傾向で推移していましたが、令和4年は増加しました。

過去10年間の死者数では、平成25年の29人が最も多く、令和4年(6人)は統計資料の残る昭和38年以降で最少となりました。



	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
発生件数	1,991	1,727	1,623	1,472	1,289	1,303	1,142	1,006	854	818	893
構成率	13.5	13.0	12.9	12.7	12.3	13.5	13.2	13.5	14.1	13.8	14.2
死傷者数	1,994	1,730	1,622	1,470	1,285	1,300	1,133	1,004	849	810	893
構成率	10.2	9.9	9.8	9.6	9.5	10.4	10.2	10.6	11.3	11.1	11.5
うち死者数	20	29	18	22	20	16	18	17	12	8	6
構成率	14.1	17.8	13.6	15.7	13.3	11.2	14.8	15.9	14.3	10.0	6.6

※1 「発生件数」は、自転車が当事者(3当以下を含む。)となった件数。

※2 「死者数」は「死傷者数」の内数。

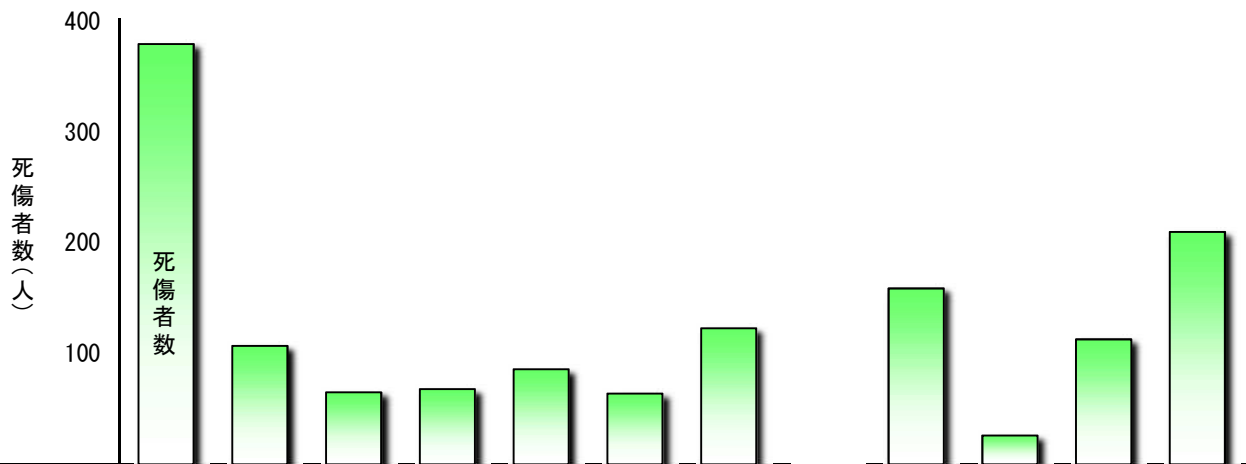
※3 「構成率」は、全交通事故(発生件数、死者数、死傷者数)に占める割合とした。

2 死傷者数

(1) 年齢層・学齢別

年齢別では「20歳未満」が最も多く、自転車死傷者総数の42.6%を占めています。

学齢別では「高校生」が最も多くなっています。



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計	高齢者	小学生	中学生	高校生
死傷者数	380	107 (1)	65	68	86	64 (1)	123 (4)	893 (6)	159 (5)	26	113	210
構成率	42.6	12.0	7.3	7.6	9.6	7.2	13.8	100.0	17.8	2.9	12.7	23.5

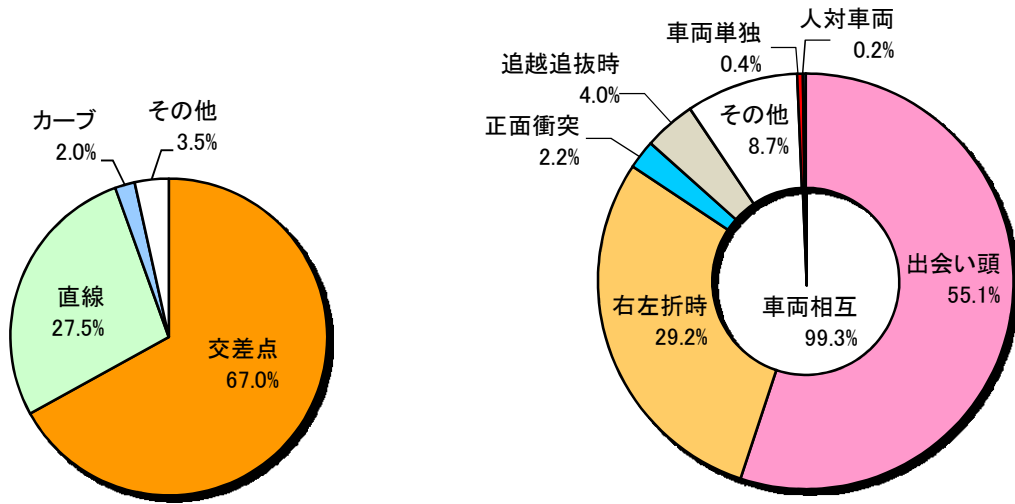
※1 ()内は死者数で内数である。

※2 「高齢者(65歳以上)」、「小学生」、「中学生」、「高校生」は内数である。

※3 「構成率」は、自転車の死傷者総数に占める割合。

(2) 道路形状・事故類型別

道路形状別では「交差点」、事故類型別では「出会い頭」が最も多くなっています。
道路形状別事故類型別では「交差点の出会い頭」が最も多くなっています。

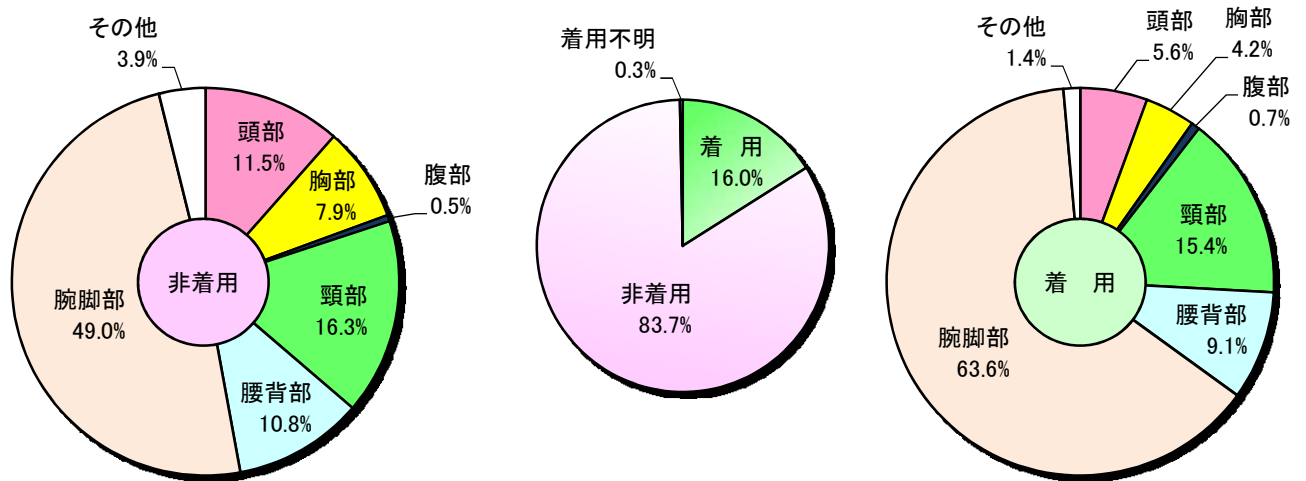


	車 両 相 互					小 計	車両単独	人対車両	合 計
	出会い頭	右左折時	正面衝突	追越追抜時	その他				
交 差 点	358 (2)	220	2	6	9	595 (2)	2	1	598 (2)
直 線	119 (1)	37	9	26	52 (1)	243 (2)	2 (1)	1	246 (3)
カーブ	3	2	7	1	5 (1)	18 (1)			18 (1)
その他	12	2	2	3	12	31			31
合 計	492 (3)	261	20	36	78 (2)	887 (5)	4 (1)	2	893 (6)

※ ()内は死者数で内数である。

(3) ヘルメット着用・主な損傷部位別

ヘルメット着用別では「非着用」が83.7%と多く、「着用」は16.0%でした。
ヘルメット着用別に主な損傷部位をみると、「非着用」、「着用」とも「腕脚部」が最も多くなっています。
頭部損傷の構成率をヘルメット着用別で比較すると、「非着用」は「着用」の約2.1倍高くなっています。



	頭 部	胸 部	腹 部	頸 部	腰 背 部	腕 脚 部	そ の 他	合 計
着 用	8	6	1	22	13	91	2	143
非 着 用	86 (3)	59	4	122 (2)	81	366	29 (1)	747 (6)
着 用 不 明	1	1					1	3
合 計	95 (3)	66	5	144 (2)	94	457	32 (1)	893 (6)

※1 ()内は死者数で内数である。

2 上記ヘルメット着用別の損傷部位円グラフに、「着用不明」は含まない。